Ⅲ 学社連携・融合

子供の居場所「みなみ子供広場」の取組について

みやま市・南校区公民館館長 辺春 英 雄

- ① 事業名 子どもの居場所「みなみ子供広場」
- ② 目 的 学校週5日制実施をうけ、地域の力で子どもを支え健全育成することを目的とする。
- ③ 事業の実施主体

南校区まちづくり協議会

④ 連携協力団体

南校区まちづくり協議会の各構成団体、

校区公民館、区長会、校区社会福祉協議会、さざんか学級(地域づくり学級)、女性倶楽部(婦人会)、食進会、老人会、JA女性部、子供会育成会、南小学校(児童数 210 名)、他有志ボランティア

⑤ 事業予算

収入 校区まちづくり協議会より育成費 30,000円 校区社会福祉協議会より補助金 30,000円 餅米 (農業体験) の売り上げ金 約 45,000円 (19年度) みそ (みそ作り教室) 売り上げ金 9,000円 (") 雑収入 (子どもの参加費など)

支出 講師謝金(但し、校区内の講師には謝金無し) 教材費、消耗品費、活動材料費補助など

- ⑥ 実施に至る経緯
 - ・平成14年 1日だけの開設

学校完全週5日制実施をうけ、南校区公民館として、校区内各団体の代表者に呼びかけ、子どもの居場所づくりについて初めての打合せ会を持ちました。

それぞれの団体から、自分達で子ども達のために出来ることを出し合ったところ、 農業体験・料理教室・昔あそび・囲碁将棋教室など、いろいろなものが出されました。 それをもとに、試行として1日だけの開設にふみ切ることになりました。 昔あそび、お楽しみ料理教室、囲碁将棋、竹細工などおよそ70人の子供たちの参加で、 はじめの一歩を踏み出しました。

·平成15年 年間36教室開設

2年次、年間通して各団体・各個人で開設できる教室と期日を出し合い、農業体験・紙芝居作り・折り紙教室・料理教室など年間36教室を開設することができました。その後、年々少しずつ増え、現在に至っています。

⑦ 事業の内容

南校区活動の屋台骨は、平成18年度に設立された「南校区まちづくり協議会」です。南校区公民館の他19団体(20年度)で運営されています。

「協議会」活動は、これまでの南校区公民館活動を基盤に、更に校区民一人ひとりが主体となって住みやすいまちを築こうと、参加団体枠を広げ、まちの将来像を「みなみ校区将来美ジョン」に描き、地域の自然環境、伝統文化などを生かし、住民の絆を深め、安全、安心な暮らしやすい校区づくりを目指しています。

この誌面の本題である子どもたちとの係わりを紹介しますと、「協議会」事業の一

つに、「子どもが元気に、イキイキ育つ校区づくり」を掲げ①「みなみ子供広場事業」 ②「子ども声掛け見守り事業」に取り組み、これに南公民館が連携して運営されているところです。

「みなみ子供広場」は、年間を通じて、公民館施設を利用して毎週土曜日に小学生たちが集います。学校を経由して広場事業のチラシを貰った子どもたちは、遊びや工作、スポーツや文化、生活体験、ボランティア事業等を体験しています。子どもたちに手ほどきをしたり安全面等の支援をしたりするのは、趣味や教養講座を学ぶ「さざんか学級」をはじめとした「協議会」の各種団体のみなさんです。

20年度の農業体験では、田植え や稲刈りに(187人)の子ども たちが参加し、収穫した米で餅つ き大会を体験しました。このほか 特に感心することでは、毎年大型 の手作り紙芝居を製作し、出来上



がった作品を近くの保育園に出向いて園児の前で読み聞かせをし、園児たちに大変 喜ばれています。これまで12作の立派な作品が完成しました。



この広場開設以来 19 年度まで、開設延べ日数 約 250 日、参加児童数約 4900 人、支援ボランティア 約 1,850 人、このようにたくさんのふれ合いが残りました。

一方公民館の外の取組では、「子ども声掛け見 守り事業」「子ども 110 番の家」事業などがあり、

地域の温かい支援の拡がりは、子どもたちに安心安全感を与えています。

これに応え、南小学校では、地域へのお礼として、総合学習を通じてボランティアの皆さんに感謝のことばを述べたり、「110番の家々」にプランターの花をプレゼントし、登下校時に水を掛けたりしています。さらに、公民館入り口にも、5年生が可愛い花を植栽してくれるなど、訪れる人たちの心を温かく迎えています。



このように、南公民館は学校、家庭、地域が一 体となってまちづくり事業の中で、子どもたちが育っています。

平成20年度の活動一覧

期	В	内 容	場所	指導ボランティア	参加者数 <i>/</i> ボランティア数
4/16	(水)	第1回実行委員会	改善センター	各子供広場ボランティア代表	
4/26	(土)	開講式	11	各子供広場ボランティア	116/60
5/10	(土)	紙芝居作り	11	河野典子先生ほか	23/5
5/17	(土)	紙芝居作り	11	河野典子先生ほか	39/4
5/24	(土)	紙芝居作り	11	河野典子先生ほか	29/4
5/31	(土)	お好み焼き・クッキー	11	食進会	65/5
6/ 7	(土)	折り紙教室	11	金子リツ子先生と女性倶楽部	38/6

6/14(土)	押し花教室	11	塚田先生とサザンカ「押し花」	30/5
6/21(土)	生花(フラワーアレンジ)	11	黒木靖子先生	24/6
6/28 (土)	農業体験「田植え」	改善センター集合	各子供広場ボランティア	113/34
7/5(土)	七夕祭折り紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	25/9
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	囲碁将棋	11	サザンカ「囲碁将棋」	5/1
7/6(目)	パン作り	11	河野恵先生とJA女性部	45/13
7/12(土)	やきもの教室	11	蒲池焼き田嶋先生	64/4
, , = = (33)	大正琴教室	11	サザンカ「大正琴」	6/6
7/19(土)	保育園訪問	太神保育園	河野典子先生ほか	24/2
7/26(土)	科学遊び工作教室	改善センター	NPO法人「科学の公園」	30/5
8/2(土)	折紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	9/5
	グリーンソフトボール	南小運動場	江崎博実先生	23/3
8/ 9 (土)	グリーンソフトボール	南小運動場	江崎博実先生	20/4
8/23(土)	押し花教室	改善センター	塚田先生とサザンカ「押し花」	19/3
8/23(土)	ファミリーバ・ド・ミントン大会	南小体育館	南公民館	
8/30(土)	大正琴	改善センター	食進会	8/3
9/6(土)	折り紙教室	改善センター	& 医 	9/3
	加多概数型 囲碁将棋	以音とフター	並ずりりずルエC文は原来的 サザンカ「囲碁将棋」	2/0
9/13(土)	保育園訪問	」,, 浜田保育園	グラング・四名が快」 河野典子先生ほか	24/2
9/13 (上)	大正琴(午後)	改善センター	サザンカ「大正琴」	3/2
9/20(土)	フラワーアレンジ (生け花)	改善センター	黒木靖子先生	6/3
10/4(土)	折り紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	27/5
10/4(土)	編み物教室	改善センター	江崎マチ子先生ほか	25/3
10/11(1)	みそ作り教室	以音とフター	JA女性部	17/6
10/13 (月)	みそ作り教室	11	JA女性部	10/9
10/13(月)	押し花教室	ッパー 改善センター	塚田先生とサザンカ「押し花」	47/3
$10/18 (\pm)$ $10/25 (\pm)$	農業体験「稲刈り」	改善センター集合	各子供広場ボランティア	74/46
11/1(生)	折り紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	43/5
11/8(生)	別り 叔女生	改善センター	有志ボランティア	31/5
11/15(土)	竹細工	改善センター	有志ボランティア	21/4+19
		改善センター		37/9
11/22(土)	親子料理教室	以音センター	南校区社会福祉協議会	22/5
11/29 (±)	編み物教室	かぎわいり	江崎マチ子先生	29/5
12/6(土)	折り紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	97/30
12/13(土)	餅つき大会	改善センター	各子供広場ボランティア	45/8
12/20(土)	しめ縄作り	改善センター	紫牟田一馬さんほか	
1/10(土)	折り紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	25/4
1/17(土)	囲碁将棋	改善センター	サザンカ「囲碁将棋」	1 1 / 4 64 / 9
	お好み焼きパーティ		JA 女性部	347 0
1/24(土)	料理教室	改善センター		43/10
1/31(土)	茶の湯	改善センター	河野典子先生	15/4
2/7(土)	折り紙教室	改善センター	金子リツ子先生と女性倶楽部	27/5
2/14(土)	押し花教室	改善センター	塚田先生とサザンカ「押し花」	
$\frac{2/21}{(\pm)}$	茶の湯	11	河野典子先生	
$\frac{2/21}{2/8}$ (±)	野外クッキング	改善センター	アンビ・シャス青年リーダー	
3/7(土)	茶の湯	以日 C フ フ	河野典子先生	
3/15(土)	校区文化祭	ひ善センター	各ボランティア	
0,10(1)	広場閉講式・みそセール			
		l		1

⑧ 事業の成果

- ・地域ボランティアと子どもの関係が親しくなってきた。
- ・子どもが地域の大人に対する感謝の態度がみられるようになった。
- ・ 子どもとのふれあいの中で、各構成団体同士のコミュニケーションが深まっ

⑨ 今後の課題

- ・子ども達の主体的な活動へ向けて、どう進めていくか。
- ・学年によって、子どもの参加状況に差がみられる。

問い合わせ先

みやま市瀬高町太神 917-2